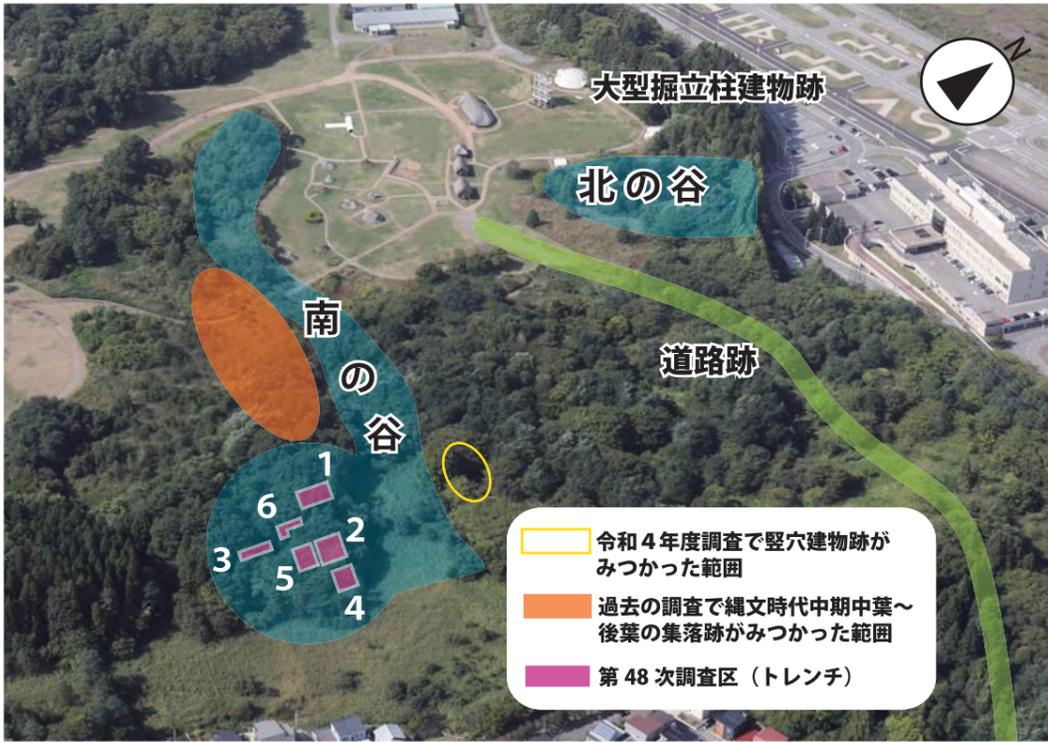




# 三内丸山通信



【第48次調査位置】

## 第48次調査の成果

第48次調査は南地区の集落が、東側へどのように広がっているのか、1〜6ト

レンチの6箇所を調査を行いました。

1トレンチでは縄文時代中期中葉〜後葉(5,000〜4,400年前頃)と

# 今年度の発掘調査終了!

三内丸山遺跡では、集落の全体像解明と遺跡の保存・活用を進めるため、毎年発掘調査を行っています。令和5年度は、南地区東側で第48次調査を6月1日〜10月31日に実施しました。

考えられる竪穴建物跡が1棟見つかりました。この竪穴建物跡では、踏みしめられて硬くなった床面が確認されました。



【竪穴建物跡(1トレンチ・赤色点線は床面の硬い範囲)】

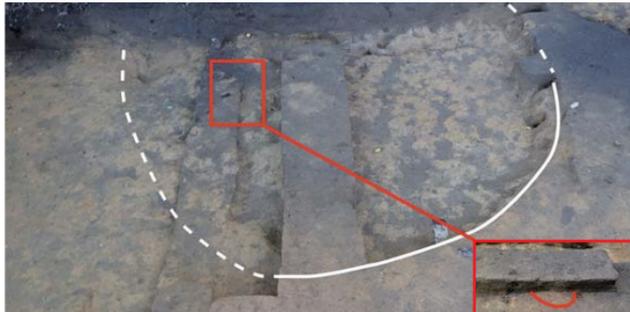
2トレンチでは昨年度の調査で土坑墓と考えられる痕跡が見つかりましたが、今年度の調査によって樹木が倒れた痕跡の可能性が高いことがわかりました。

4トレンチでは縄文時代後期前葉(4,000年前頃)と考えられる遺物が出土しており、この周辺では大きな集落が営まれた縄文時代中期中葉〜後葉以降の人々が生活していたと考えられます。

5トレンチで縄文時代晩期前葉(3,000年前頃)



【5トレンチ出土土器(縄文時代晩期)】



【竪穴建物跡(5トレンチ・赤色は地床炉の範囲)】

と考えられる竪穴建物跡が1棟とフラスコ状土坑(貯蔵穴)が見つかりました。その竪穴建物跡の床面で火を焚いた地床炉が発見されたほか、平安時代以降と考えられる竪穴建物跡が1棟見つかりました。

今年度の発掘調査成果については、令和6年3月の「特別史跡三内丸山遺跡報告会」、「さんまる速報展! 2023」にて報告する予定です。

## 企画展「さんまる北側・新発見」開催中!

この企画展では、平成24(2012)年度から令和3(2021)年度に行われた遺跡北側の最新の調査成果について紹介しています。

同時開催の収蔵品展「あらたにわかった三内丸山遺跡の出土品」では、発掘調査報告書刊行後の分析や整理作業で得られた成果について紹介しています。

会場：三内丸山遺跡センター企画展示室  
会期：令和5年10月28日(土)〜令和6年3月10日(日)  
観覧時間：午前9時〜午後5時 ※入場は閉館の30分前まで  
休館日：毎月第4月曜日、12月30日(土)〜1月1日(月)  
観覧料：遺跡を含む常設展観覧料で観覧できます。



【盛土出土土偶】

